

平成29年度
事業報告書

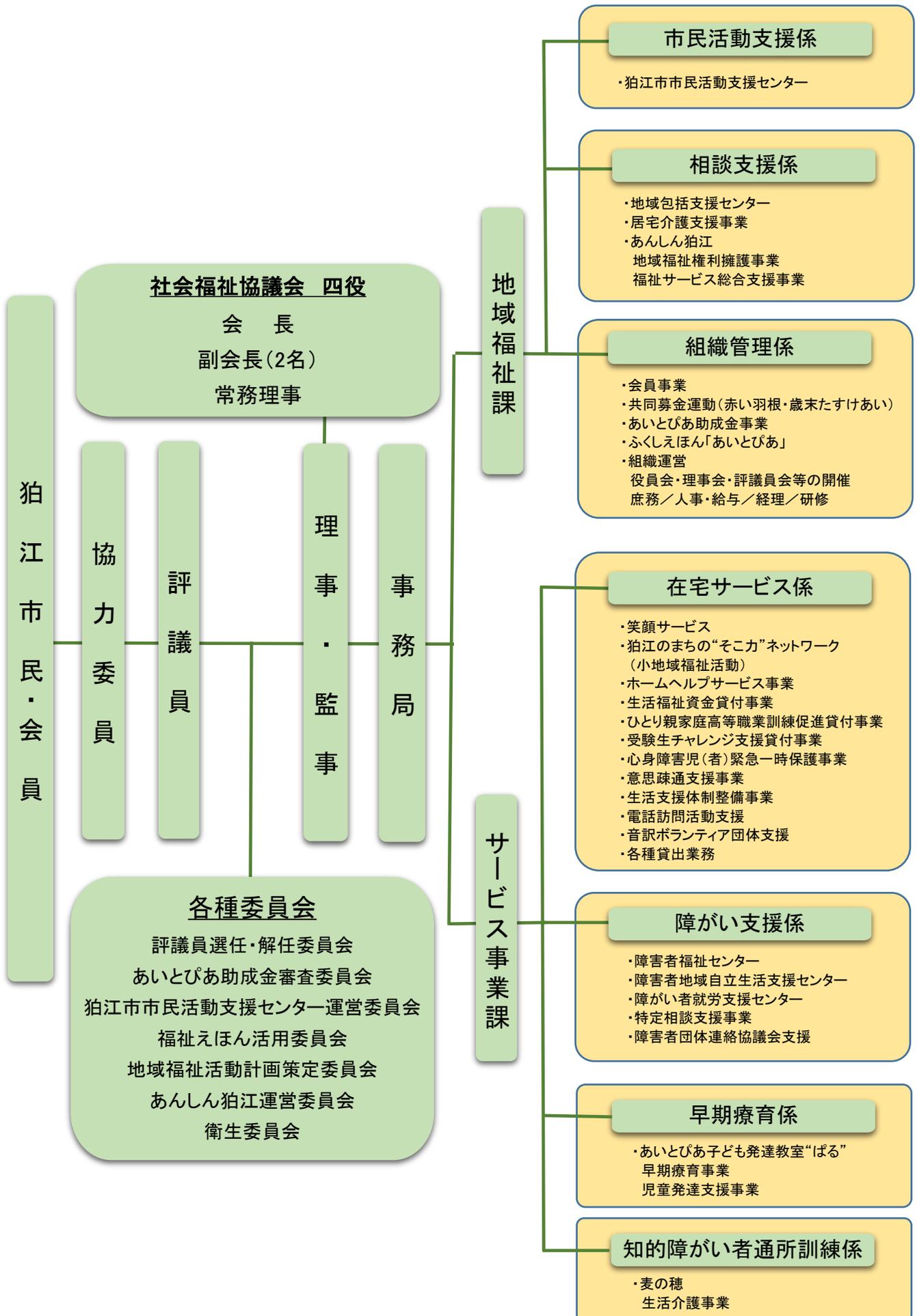
社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会

目次

■平成29年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会組織図	1
■平成29年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告	
総括	2
(重点的な取組み)	
1 狛江市市民活動支援センターの管理運営	4
2 狛江のまちの“そこ力”ネットワーク推進事業（小地域福祉活動の推進）	6
3 地域包括支援センター	6
4 地域福祉活動計画の策定	7
5 社会福祉法人制度改革への対応	7
■平成29年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告	
(地域福祉推進部門)	
小地域福祉活動の推進（狛江のまちの“そこ力”ネットワーク）	8
市民活動支援センターこまえくぼ1234	9
ふくしえほん「あいとびあ」事業	12
笑顔サービス	13
訪問型サービスB	13
電話訪問活動支援	14
共同募金運動	14
あいとびあ助成金事業	14
(福祉サービス利用支援部門)	
障害者福祉センター	15
障害者地域自立生活支援センター サポート	15
あんしん狛江	16
地域包括支援センター	17
生活支援体制整備事業	18
生活福祉資金貸付事業	19
ひとり親家庭高等職業訓練貸付事業	19
受験生チャレンジ支援貸付事業	19
学習支援ステーション コマゼミ	20
(在宅福祉サービス部門)	
障がい者就労支援センター サポート	21
特定相談・障がい児相談支援事業	22
心身障害児（者）緊急一時保護事業	22
意思疎通支援事業	23
ホームヘルパーステーション	25
あいとびあ子ども発達教室“ばる”	26
生活介護事業 麦の穂	28
(法人運営部門)	
会員事業	29
寄付事業	29
収益事業	30
災害時の対応と災害ボランティアセンターの運営準備	30
役員会・理事会・評議員会	30
広報事業	30
地域福祉活動計画の策定	31
労働安全衛生の管理	31
実習生受け入れ	32

※事業報告書は、定款第39条に定める「事業報告の付属明細書」の内容を含んでいます。

平成29年度 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 組織図



平成 29 年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告（案）

平成 29 年度基本方針

改正社会福祉法が平成 29 年 4 月から施行されることに伴い、狛江市社会福祉協議会は、高い公益性が求められる社会福祉法人として組織のガバナンスの強化や透明性の向上をすすめるとともに、地域福祉を推進する「協議体」としての特性を発揮して、社会福祉法人・福祉施設との協働による公益的な取り組みを推進すること等が期待されています。

また、狛江市では、現在、「狛江市第 4 次あいとぴあレインボープラン（狛江市地域福祉計画）」「狛江市第 5 期障害者計画・障害福祉計画」「狛江市高齢者保健福祉計画・第 7 期介護保険事業計画」の策定を進めています。狛江市社会福祉協議会では、狛江市の計画に連動した「第 3 次地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）」を策定中です。この計画期間が平成 30 年度からとなることから、平成 29 年度は、行動計画から活動計画への移行年度となります。

現在策定中の活動計画の基本理念は、「あいとぴあ推進計画 2000（第 2 次地域福祉活動計画）」の理念も引き継ぎながら「一人ひとりが主役となって、誰もが安心して暮らせるまち～あいとぴあ狛江～」として掲げました。誰もが「であい・ふれあい・ささえあい」ながら安心して暮らすことができるように、一人ひとりが地域の課題を自分たちの問題として考え、地域と福祉に関心を持ち、理解を深めるための支援をするとともに、それぞれの知識や経験を活かしながら、時間や関心に応じて、地域活動に参加することを支援していきます。また、関係機関・関係団体・住民が連携して地域の困りごとを解決していくためのネットワークを形成してまいります。

この基本理念に向かって、平成 29 年度は活動計画の準備期間として位置づけ、行動計画の取組みに関する現状と課題を整理するとともに、各種事業に取り組んでまいります。

■ 総括

平成 28 年度より 2 年間をかけて検討してきた「第 3 次地域福祉活動計画」が平成 30 年 3 月に策定されました。

「地域福祉活動計画」では、重点的な取組みとして、コミュニティソーシャルワーカーの配置、福祉カレッジ（仮称）の開催、福祉のまちづくり委員会（仮称）の設置の 3 つの取組みを掲げ、平成 30 年度より 6 か年をかけ計画を進めてまいります。

平成 29 年度は、「地域福祉活動計画」の基本理念で掲げた「地域福祉の推進」を念頭に、4 つの重点的な取組みを行いました。

第一に、狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ 1 2 3 4）については、指定管理 2 年目の取組みとして、市民への周知活動に加え、各種部会活動が活発化し、登録団体とともに支援センター事業への協力者を増やしました。

第二に、狛江のまちの“そこ力”ネットワーク推進事業（小地域福祉活動の推進）につい

では、「地域福祉活動計画」で取り入れた日常生活圏域の考え方をもとに職員体制を組み換え、福祉のまちづくり委員会（仮称）の設置と住民懇談会の実施に向けての体制整備を行いました。

第三に、地域包括支援センターでは、機能強化型地域包括支援センターの人材育成機能として市内介護支援専門員を対象に研修を実施し、関係者の地域福祉推進への関心を高めるとともに地域包括ケアシステムの構築として関係者との協力体制を推進しました。

第四に、平成 30 年 3 月に、狛江市に本部がある 5 つの社会福祉法人が参画した「狛江市社会福祉法人連絡会」が発足しました。連絡会では今後の取組みとして、「福祉なんでも相談（仮称）」の開催を計画しています。

今後も、当協議会では関係者や関係団体と協力し合いながら地域福祉の推進に尽力してまいります。

■重点的な取組み

1 狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ1234）の管理運営

（1）支援センターのPR

団体の活動や地域のイベント、会議等に参加し、地域資源の情報収集とともに支援センターのPRを行いました。また、個人や団体の市民活動を広く知ってもらうために、登録団体・個人にフリースペースを提供し、イベントや展示会の実施を支援しました。

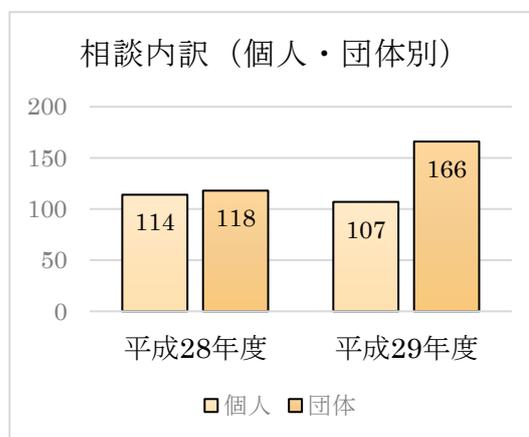
また、3月には支援センターの主催によるペイントイベントを実施して多くの方にご参加いただきました。イベントや展示会の参加者の中には、支援センターを初めて訪れる人も多く、支援センターのPRにもつながりました。市民活動団体や個人には新たなチャレンジの場として、また、市民にとっては市民活動に触れる良い機会となりました。

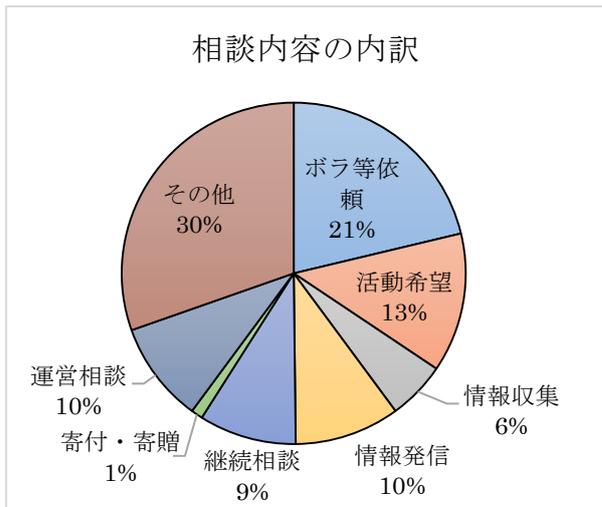


（2）より良い相談対応

支援センターの根幹と位置付けられる相談事業では、ボランティアや市民活動に関する相談を随時受付けています。

相談件数は、平成28年度比117%となり、団体の相談については150%となりました。団体からの相談が個人からの相談を大きく上回っていることが平成29年度の特徴です。





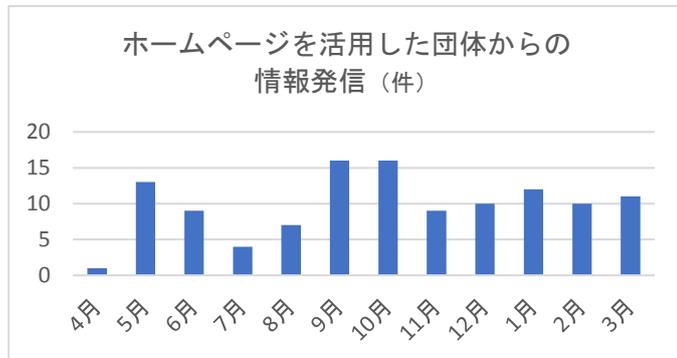
相談内容では「ボランティアや講師などの依頼」と「活動希望」の問い合わせが多くありました。また、「情報の発信」は、団体からの相談が平成 28 年度よりも 5%から 10%へ増加しています。

平成 29 年度は、相談の中から、狛江市が行う講座の修了生のグループ化、言語や国に捉われず狛江のまちづくりに関わりたいという若者のグループ化、障害者就労支援事業所の開設という 3 つの団体の立ち上げに関わりました。既にどの団体も活動を始めており、今後も活動を見守りつつ緩やかな支援を続けていきます。

（3）情報の収集と発信

① ホームページや SNS の活用

支援センターのホームページは開設から 1 年半あまり経ちました。支援センターへの登録団体は 115 団体になり、うち 107 団体がホームページに登録して団体専用ページを利用しています。53 団体から 139 件の情報が発信され、このうち 15 団体から 54 件の情報が団体自身によって発信されました。また市民から構成されるホームページ部の協力により、市民活動団体や市民向けに、ホームページの活用説明会を実施し、延 26 団体 60 名が参加しました。



② 情報紙「えくぼ」の発行

支援センターからのお知らせや、市民活動に関する情報（活動者募集や助成金情報など）を掲載した情報紙を年間 11 回、各号 3,700 部発行しました。市内個人宅への配布は約 460 件、市内の施設や店舗等は市内 101 ヶ所に配布しています。

印刷、発送準備、配布には、26 名 2 団体にボランティアとして協力していただいています。

③ 市民参加による広報誌「こまえがお」の発行
市民のボランティア9名からなる広報部会とともに、広報誌「こまえがお」を発行しました。

広報部会では、毎号のテーマや取材先、誌面構成までを協議・検討しています。様々な切り口から市民活動を取り上げており、顔の見える広報誌となっています。

各号 30,000 部発行し、新聞折り込み、情報紙「えくぼ」の配布先への設置のほか、平成 29 年度は新たに市内小中学校へ配布しました。



2 狛江のまちの“そこカ”ネットワーク推進事業（小地域福祉活動の推進）

地域福祉活動計画策定の過程で、これまでの岩戸、猪方・駒井、野川、和泉の4地区を基礎とした小地域福祉活動を、狛江市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における日常生活圏域の、あいとびあエリア、こまえ苑エリア、こまえ正吉苑エリアという3地区として取り組むことになりました。

そのために、担当職員をエリアごとの推進チームに分けました。これにより平成30年度から地域共生社会推進事業と連携し、福祉のまちづくり委員会（仮称）や住民懇談会を実施していきます。

3 地域包括支援センター

介護保険法改正により、平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が開始されました。要支援の認定者及び非該当になったサービス事業対象者を対象に、介護予防・生活支援サービス事業の利用促進の一助を担いました。利用者が適切なサービスを選択し利用できるよう、サービス事業者との密な連携を行い、円滑な移行を進めました。

認知症高齢者の増加に伴い、認知症サポーター養成講座を継続して開催し、認知症の予防・対応における普及啓発に努めました。

総合相談においては、相談内容が多様化しています。相談件数も年々増加しており、平成29年度は延べ3,922件となり、前年度比で7%増加しました。

権利擁護に関する相談は、継続ケースを含め32件あり、サービス拒否、多問題世帯、経済的困窮といった、いわゆる「対応が困難な事例」が増えているため、信頼関係の構築に重点を置いた対応を行いました。

機能強化型地域包括支援センターでは、2年目の取組みとして、地域の人材育成機能である介護支援専門員の課題解決能力の向上を主軸にした研修を実施しました。先進地域の講師を招き介護支援専門員のスキルアップに努めました。研修に合わせ地域の介護支援専門員からの相談も広く受け付け、介護支援専門員とともに個別ケース課題の解決を行うことで、地域の課題解決力を高めていくことに努めました。

4 地域福祉活動計画の策定



市民説明会 (12/21)

平成 28 年度に引き続き、地域福祉活動計画策定委員会において協議、検討を行ったほか、4月に立ち上げた職員のプロジェクトチームにより調査研究、事業検討等も行い、計画の策定作業を進めてきました。

また、計画の概要を広くお知らせするとともに、地域住民から幅広い意見をいただき、その声を計画に反映させるための市民説明会の開催や、計画の充実を図るための近隣社会福祉協議会への視

察研修も行いました。

そしてこの度、平成 30 年 3 月に「第 3 次地域福祉活動計画」を策定することができました。今後は、地域住民や関係機関・団体の皆様と共に、計画実現のための取組みを進めていきます。

5 社会福祉法人制度改革への対応

地域における公益的な取組みを推進するために、狛江市に本部がある 4 つの社会福祉法人とともに狛江市社会福祉法人連絡会（仮称）準備会を開催しました。その中で市内 13 の社会福祉法人に対し、連絡会への参加意向確認等のアンケート調査を実施し、平成 30 年 3 月に当会を含めた 5 つの法人が参加する狛江市社会福祉法人連絡会が発足しました。



発足式 (3/9)

今後、社会福祉法人連絡会では、近隣住民、利用者等が日常的な福祉についての心配ごとを相談できる場として「福祉なんでも相談（仮称）」の開設を検討していく予定です。

平成29年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 事業実施報告

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
地域福祉推進部門	小地域福祉活動の推進（狛江のまちの“そこ力”ネットワーク）	
	<p>小地域福祉活動推進チームとして、あいとびあエリア・こまえ苑エリア・こまえ正吉苑エリアのエリアスタッフを位置付けた。</p> <p>第3次地域福祉計画において計画された福祉のまちづくり委員会（仮称）及び住民懇談会について、平成30年度から地域共生社会推進事業と連携した取組みを行っていく。</p>	
	<p>①岩戸地域ネットワーク活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩戸地域福祉推進委員会 全体会 3回 【3回】 ・ お茶のみ会 11回（10月を除く第2水曜日） 参加者延 445名 【11回 延409名】 ・ 会食会 2回（10月） 参加者 86名 【4回 82名】 <p>②猪方駒井地域ネットワーク活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 猪方駒井地域福祉推進委員会 全体会 3回 【3回】 ・ おしゃべりサロン 10回（第4木曜日） 参加者延 461名 【10回 延494名】 ・ お楽しみ会（20周年記念式典開催） 1回（9/28） 参加者 128名 【1回 135名】 ・ もちつき大会 1回（11/18） 参加者 360名 【1回 418名】 ・ 推進委員交流会 2回（6/15、2/7） 32名 【2回 30名】 <p>③野川地域ネットワーク活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野川地域福祉推進委員会会議 12回（サロン終了後に開催） 【12回】 ・ サロン野川 12回（毎月第4木曜日※11月は第5木曜日、12月は第3木曜日） 参加者延 676名 【12回 延589名】 <p>④和泉地域ネットワーク活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ “サロンいずみ”をささえる会への支援（中和泉5丁目） サロンいずみ 10回（8月・1月を除く第3木曜日） 参加者延 212名 【10回 延251名】 ○ いずみサロン運営委員会への支援（西和泉2丁目） <ul style="list-style-type: none"> ・ いずみサロン 11回（8月を除く第3水曜日） 参加者延 306名 【11回 延280名】 ・ 運営委員会 4回（6月、9月、12月、3月） 【4回】 ○ ふれあい西の和泉への支援（西和泉1丁目） <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師派遣等（体操、認知症講座）2回 【2回】 ・ 相談支援 <p>⑤おとなりサロン活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動助成 1件（狛江団地自治会福祉部ふれあいサロン・和泉本町4丁目狛江団地で活動） 【2件】 	

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績																
地域福祉推進部門																		
小地域福祉活動の推進（狛江のまちの“そこカ”ネットワーク）																		
<p>⑥ネットワーク会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク担当者会議 4回【12回】 アドバイザー：上智社会福祉専門学校 岩崎雅美氏 <p>⑦地域活動団体との情報交換や働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会連合会の傍聴 																		
市民活動支援センターこまえくぼ1234（市民活動支援係）																		
<p>市民と行政による協働のまちづくりを推進し、市民及び市民活動団体を支援するための活動拠点として、指定管理者制度に基づき運営をしている。</p> <p>※詳細は、重点的な取組みとして4～6ページに掲載しています。</p>																		
<p>①相談機能</p> <p>○相談件数 273件（個人107件、団体166件） 【232件】</p> <p style="padding-left: 20px;">＜内訳＞</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・新規活動相談</td> <td style="text-align: right;">36件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・団体運営に関すること（助成金関係含む）</td> <td style="text-align: right;">26件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・情報収集</td> <td style="text-align: right;">15件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・情報発信</td> <td style="text-align: right;">27件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・ボランティア・講師等の依頼、問合せ</td> <td style="text-align: right;">58件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・継続相談</td> <td style="text-align: right;">25件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・寄付・寄贈</td> <td style="text-align: right;">3件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">・その他</td> <td style="text-align: right;">83件</td> </tr> </table> <p>○専門相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門相談会2回 参加団体 延6団体【平成29年度新規】 <p>②拠点機能（市民及び市民活動団体への支援）</p> <p>○来館者数 5,879人【3,262人】</p> <p>○機材・物品の貸出 プロジェクターやスクリーン等の貸出 46件【53件】</p> <p style="padding-left: 20px;">※在宅サービス係と連携して実施</p> <p>○回収活動の推進</p> <p>使用済みの切手やインクカートリッジ、カード、はがきを回収し市民活動推進のために活用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済みインクカートリッジ2箱分回収 <li style="padding-left: 20px;">回収されたインクカートリッジを再生利用推進センターに送付 ・切手カフェ 全23回 参加者 延125名【70名】 <li style="padding-left: 20px;">回収された使用済み切手を整理するボランティアを出入り自由のカフェ形式で実施 <p>○ボランティア保険・行事保険加入取りまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険加入件数 2,040件【1,792件】 <li style="padding-left: 20px;">（内天災プラン加入数 200件【91件】） ・行事用保険加入件数 275件【226件】 <li style="padding-left: 20px;">（内当日参加対応型加入数 2件） <p>○フリースペースの登録団体優先利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント利用 20件 ・展示利用 3件 			・新規活動相談	36件	・団体運営に関すること（助成金関係含む）	26件	・情報収集	15件	・情報発信	27件	・ボランティア・講師等の依頼、問合せ	58件	・継続相談	25件	・寄付・寄贈	3件	・その他	83件
・新規活動相談	36件																	
・団体運営に関すること（助成金関係含む）	26件																	
・情報収集	15件																	
・情報発信	27件																	
・ボランティア・講師等の依頼、問合せ	58件																	
・継続相談	25件																	
・寄付・寄贈	3件																	
・その他	83件																	

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
地域福祉推進部門	市民活動支援センターこまえくぼ1234（市民活動支援係）	
	<p>○食の提供を通じた支援や居場所の提供を行う団体への支援 情報交換会（6/18、11/26） ワーキング（7/7） ネットワーク化のための準備会（1/21） 団体共通のマップ作成およびネットワーク化への支援</p> <p>○北多摩南部ブロック5市ボランティア・市民活動センター共催事業 ・会議 12回 ・共催事業 東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議 合同訓練（9/3） 防災まち歩きの実施 参加者：105名 北多摩南部ブロック職員連絡会 合同研修会（2/1） 「もしも勤務地社協が被災地になったら」の実施</p> <p>○第36回ボランティアのつどいへの参加（10/1） ・実行委員会 5回【5回】</p> <p>○狛江フェスティバルへの参加（7/29、7/30） ・運営委員会（4/11、6/7、7/4）</p> <p>⑥関係機関との連携</p> <p>○講師協力・視察対応など ・小金井市市民協働センター準備室視察対応（4/28、1/18） ・府中市市民活動センター 運営委員会視察対応（9/4） ・区市町村ボランティア・市民活動センターセンター長会議話題提供（2/16） ・高齢障がい課よみ聞かせ講座修了生生活活動支援対応</p> <p>○市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2018（2/9～2/11） ・事務局：東京ボランティア・市民活動センター ・実行委員会 11回</p> <p>○地域の居場所づくり研究委員会（事務局：東京ボランティア・市民活動センター）3回</p> <p>○わっこ編集会議 6回</p> <p>○地域包括ケアシステム連携会議 3回</p> <p>○介護予防・生活支援体制整備推進委員会 4回</p> <p>○学校支援地域本部会議 2回</p> <p>⑦その他</p> <p>○視覚障がい者への音訳情報提供サービス 実利用者数19名 ※ボランティアグループにより録音された各種発行物等を郵送。</p> <p>○運営委員会 6回（うち臨時会議2回）</p> <p>○専門部会 ・広報部会（市民活動支援センターが発行する広報誌の編集を行う専門部会） 活動者9名（うち新規3名） 【6名】 編集会議 27回【9回】</p> <p>・ホームページ部会（支援センターのホームページの活用を推進していくための専門部会） 活動者5名【8名】 会議9回【4回】</p>	

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
地域福祉推進部門	市民活動支援センターこまえくぼ1234（市民活動支援係）	
	<p>イベント 「みんなのえがおでくぼができる～ホームページ活用法（入門編）」（8/23） 参加：21団体49名</p> <p>岩戸地域センターこまえくぼホームページ利用説明会（3/28） 参加：5団体11名</p> <p>・体験学習部会（体験学習プログラムを検討し推進していく専門部会） 活動者6名【6名】 会議7回【4回】 イベント はじめてのプログラミング（8/19） 参加者 33名</p>	 <p>はじめてのプログラミング(8/19)</p>
	ふくしえほん「あいとぴあ」事業（組織管理係）	
<p>保育園の新規設立に伴い、新たに2つの保育園に配布を開始し、平成28年度より31名多い614名の5歳児にふくしえほんを届けることができた。</p> <p>また、ふくしえほんの活用促進を目的に新たに「ヒント集のおまけ」を作成した。本書は保育園・幼稚園の担当職員向けに配布している「活用ヒント集」を補足する内容であり、平成30年度に開催する担当職員研修会で配布する予定である。</p>		
<p>①ふくしえほん</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふくしえほん「あいとぴあ」の発行 市内幼稚園・保育園に通う5歳児計614名に配布【583名】 ○ふくしえほん活用委員会 4回【4回】 ○ふくしえほん担当職員研修会 3回【3回】 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（5/24） 手話体験 平成28年度福祉教育研究園報告 ・第2回（10/18） 講義・見学「狛江プレーパークについて」 ・第3回（1/17） 福祉教育研究園による研究報告 ○福祉教育研究園 指定園 狛江こだま幼稚園 <p>②保育園・幼稚園との連携 ※再掲 体験・見学・コーディネート等の相談 27件【35件】</p>		
		 <p>第2回担当職員研修会(10/18)</p>

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績																																													
地域福祉推進部門																																															
笑顔サービス（在宅サービス係）																																															
<p>平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスB（住民主体の自主活動として行う生活援助）が始まり、笑顔サービスの協力会員が訪問型サービスBの担い手としても活動することになった。協力会員増強の取組みとして、狛江市市民課で転入手続きをした方へ協力会員募集のチラシを配布してもらうことになったほか、協力会員が少ない猪方地域限定でチラシのポスティングを行った。また新規利用相談は地域包括支援センターやケアマネジャーからの紹介が多いため、ケアマネ連絡会に出席し笑顔サービスの紹介とPRを行った。</p>																																															
<p>①サービス実績等</p> <table border="0"> <tr> <td>○利用会員登録数</td> <td>238名</td> <td>【247名】</td> </tr> <tr> <td>○協力会員登録数</td> <td>107名</td> <td>【110名】</td> </tr> <tr> <td>○新規利用相談件数</td> <td>88件</td> <td>【105件】</td> </tr> <tr> <td>○サービス提供件数</td> <td>5,635件</td> <td>【6,091件】</td> </tr> <tr> <td>○サービス提供時間</td> <td>8,104時間</td> <td>【8,976時間】</td> </tr> <tr> <td>○笑顔のひろばの発行（会員向け広報紙）</td> <td>4回</td> <td>【6回】</td> </tr> </table> <p>②説明会・研修等</p> <table border="0"> <tr> <td>○協力会員募集説明会</td> <td>7回</td> <td>【9回】</td> </tr> <tr> <td>○協力会員新人研修</td> <td>8回</td> <td>【8回】</td> </tr> <tr> <td>○協力会員現任研修</td> <td>2回</td> <td>【2回】</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「傾聴入門講座～効果的な聴き方を考える～」（7/12） 講師：アクティヴリッスン代表 澤村直樹氏 参加者：18名 ・「防災食☆今から始めよう！災害の備え 第3弾」（調理研修）（2/7） 講師：笑顔サービス職員 参加者：9名 <p>③事業の周知</p> <table border="0"> <tr> <td>○協力会員募集ポスターの掲示・チラシの設置 こまえくぼ1234、地域センター、公民館、市民総合体育館、イトーヨーカ堂国領店 OKストア中和泉店</td> <td>10回</td> <td>【9回】</td> </tr> <tr> <td>○協力会員募集チラシ新聞折込の実施（8/21） （市内全域 20,950部、多摩川住宅 1,390部、狛江団地 1,800部）</td> <td>1回</td> <td>【1回】</td> </tr> <tr> <td>○市内町会自治会回覧板 1,707部</td> <td>1回</td> <td>【0回】</td> </tr> <tr> <td>○猪方・駒井地域へのチラシポスティング 2,300部（3/23～31）</td> <td>1回</td> <td>【0回】</td> </tr> <tr> <td>○市内転入者へのチラシ配布 3,000部（2月～）</td> <td>随時</td> <td>【0回】</td> </tr> <tr> <td>○公式ツイッター</td> <td>11回</td> <td>【7回】</td> </tr> </table>			○利用会員登録数	238名	【247名】	○協力会員登録数	107名	【110名】	○新規利用相談件数	88件	【105件】	○サービス提供件数	5,635件	【6,091件】	○サービス提供時間	8,104時間	【8,976時間】	○笑顔のひろばの発行（会員向け広報紙）	4回	【6回】	○協力会員募集説明会	7回	【9回】	○協力会員新人研修	8回	【8回】	○協力会員現任研修	2回	【2回】	○協力会員募集ポスターの掲示・チラシの設置 こまえくぼ1234、地域センター、公民館、市民総合体育館、イトーヨーカ堂国領店 OKストア中和泉店	10回	【9回】	○協力会員募集チラシ新聞折込の実施（8/21） （市内全域 20,950部、多摩川住宅 1,390部、狛江団地 1,800部）	1回	【1回】	○市内町会自治会回覧板 1,707部	1回	【0回】	○猪方・駒井地域へのチラシポスティング 2,300部（3/23～31）	1回	【0回】	○市内転入者へのチラシ配布 3,000部（2月～）	随時	【0回】	○公式ツイッター	11回	【7回】
○利用会員登録数	238名	【247名】																																													
○協力会員登録数	107名	【110名】																																													
○新規利用相談件数	88件	【105件】																																													
○サービス提供件数	5,635件	【6,091件】																																													
○サービス提供時間	8,104時間	【8,976時間】																																													
○笑顔のひろばの発行（会員向け広報紙）	4回	【6回】																																													
○協力会員募集説明会	7回	【9回】																																													
○協力会員新人研修	8回	【8回】																																													
○協力会員現任研修	2回	【2回】																																													
○協力会員募集ポスターの掲示・チラシの設置 こまえくぼ1234、地域センター、公民館、市民総合体育館、イトーヨーカ堂国領店 OKストア中和泉店	10回	【9回】																																													
○協力会員募集チラシ新聞折込の実施（8/21） （市内全域 20,950部、多摩川住宅 1,390部、狛江団地 1,800部）	1回	【1回】																																													
○市内町会自治会回覧板 1,707部	1回	【0回】																																													
○猪方・駒井地域へのチラシポスティング 2,300部（3/23～31）	1回	【0回】																																													
○市内転入者へのチラシ配布 3,000部（2月～）	随時	【0回】																																													
○公式ツイッター	11回	【7回】																																													
訪問型サービスB（在宅サービス係 ※市委託） ※平成29年度新規																																															
<p>サービス実績等</p> <table border="0"> <tr> <td>○利用者登録数</td> <td>3名</td> <td>【平成29年度新規】</td> </tr> <tr> <td>○活動者登録数</td> <td>107名</td> <td>【平成29年度新規】</td> </tr> </table> <p>※笑顔サービス協力会員と重複。</p> <table border="0"> <tr> <td>○新規利用相談（問合せ含む）</td> <td>5件</td> <td>【平成29年度新規】</td> </tr> <tr> <td>○サービス提供件数</td> <td>49件</td> <td>【平成29年度新規】</td> </tr> </table>			○利用者登録数	3名	【平成29年度新規】	○活動者登録数	107名	【平成29年度新規】	○新規利用相談（問合せ含む）	5件	【平成29年度新規】	○サービス提供件数	49件	【平成29年度新規】																																	
○利用者登録数	3名	【平成29年度新規】																																													
○活動者登録数	107名	【平成29年度新規】																																													
○新規利用相談（問合せ含む）	5件	【平成29年度新規】																																													
○サービス提供件数	49件	【平成29年度新規】																																													

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
地域福祉推進部門		
電話訪問活動支援（在宅サービス係）		
平成29年度は、はとの会と共催で、活動者の研修と市民への啓発を目的に公開講座を開催した。		
<p>ボランティアグループ「狛江電話訪問はとの会」が行う、高齢者見守り活動を支援。</p> <p>公開講座 テーマ：「他人の話をよく聴こう～よく聴くことから新しい一歩がはじまる～」 講師：林田 昭子氏（傾聴養成講座講師、三鷹市地域ケアネット運営委員） 参加者：43名</p>		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）（組織管理係）		
<p>赤い羽根共同募金では、平成28年度と比較して街頭募金への参加団体数は8団体から11団体に、参加者数が32名から37名（狛江市少年野球連盟は除く）に増えものの、天候に恵まれなかった影響もあり、思うように呼びかけを行うことができず、募金総額は平成28年度より減少する結果となった。</p> <p>また、歳末たすけあい募金においても、平成28年度と比較して街頭募金への参加団体数が増え実施回数も増やして行ったため、街頭募金による募金額は増額したが、協力委員の減少により個別募金による募金額は減額となり、募金総額は前年度比98.1%であった。</p>		
<p>地域福祉の推進を目的とする「共同募金」の一環として次の運動を実施した。</p> <p>①赤い羽根共同募金運動（10月1日～10月31日） 募金総額 903,752円【1,020,022円】 ※東京都共同募金会狛江地区協力会として実施 街頭募金実施回数 4回 参加団体数 11団体【4回 8団体】</p> <p>②歳末たすけあい運動（12月1日～12月31日） 募金総額 2,964,035円【3,020,416円】 街頭募金実施回数 2回 参加団体数 9団体42名【1回 7団体14名】</p>		
<p>あいとぴあ助成金事業（組織管理係）</p> <p>市民活動団体が多く集まる市民活動支援センターで助成金申請の説明会を実施し、6団体から参加があった。申請及び助成決定団体数は平成28年度よりも7団体増え、新規申請団体も20団体中6団体であった。</p>		
<p><助成団体> ※☆印は新規団体 覚東町会／元和泉2・3丁目町会 ☆和泉元気スクール／一般社団法人 サポート狛江／NPO法人えるぶ こども教室えるぶ NPO法人えるぶ スペースえるぶ／☆NPO法人狛江子ども食堂／NPO法人狛江共生の家 NPO法人ハッピーライフフォーエバー／NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」 ☆介護・健康カフェ／☆こどもの多摩里食堂／狛江さつき会／こまえチャイルドライン 狛江市手をつなぐ親の会／狛江市登録手話通訳者研修会／狛江市老人クラブ連合会 ☆ハンズ・プレイス／ピースピアーズG／☆みんなの居場所実行委員会</p> <p style="text-align: right;">計20団体 1,000,000円を助成 【13団体 1,000,000円】</p>		



街頭募金(12/1)

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
福祉サービス利用支援部門	障害者福祉センター（障がい支援係 ※市委託）	
	療育相談の相談件数は、平成28年度に比べると若干減少している。 歯科相談は、新規事業として平成29年度よりブラッシング講習会（はみがき講習会）とブラッシング指導を開始した。各事業所に歯科衛生士が出向いて実施することで、より多くの障がい者にブラッシングの大切さを伝えることができた。	
	<p>①療育相談（毎月2回開設）</p> <p>各回医師1名、臨床心理士1名の体制で対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日数 23日【24日】 ・相談件数 延56件【延62件】 ・相談員 慈恵医大第三病院小児科医（嶋崎友希氏、鈴木貴之氏） 狛江市医師会小児科医（石戸谷尚子氏） 臨床心理士（小林香代子氏、井潤知美氏） <p>②歯科相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日数 4日【4日】 ・相談件数 延 116件【延 122件】 ・相談員 狛江市歯科医師会歯科医（長谷川泰氏、花井浩氏、堀江純一氏、 松浦康文氏、松本良一氏） 歯科衛生士（富士野喜美子氏、松原かずみ氏、大野眞理子氏） <p>〔新規事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラッシング講習会（ポンテ、麦の穂、ワークイン・メイ、こまえ工房こもれび・ こだち・もえぎ、ひかり作業所） 85名 ・ブラッシング指導（麦の穂、ポンテ、ひかり作業所） 延110名 <p>※ブラッシング指導対象作業所の内、こまえ工房こもれび・こだち・もえぎの3事業所は合併のため、見送りとなった。</p>	
	障害者地域自立生活支援センター サポート（障がい支援係 ※市委託）	
	障がい者料理教室は、“自分で作る”をテーマに、教室で習った内容を自宅でも作ることができる簡単なメニューで調理を行った。 対人関係学習会基礎編は、日常生活のトラブルで困らないためにどう行動したらいいのかを具体的に伝える場として、市内作業所への出前講座という形で実施した。慣れている場所で実施したことで、参加者からは積極的な発言や意見が多く出された。平成29年度も市内劇団グスタフの協力を得てロールプレイを行ったため、当事者にとって分かりやすい内容で実施することになった。	
<p>（ ）内はピアカウンセリング件数の再掲</p> <p>①支援延べ件数 3,438件【3,348件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉サービスの利用等に関する支援 1,362(5)件【1,350(4)件】 ○障がいや病状の理解に関する支援 220(0)件【139(0)件】 ○健康・医療に関する支援 224(12)件【258(3)件】 ○不安の解消・情緒安定に関する支援 248(3)件【559(4)件】 ○保育・教育に関する支援 54(0)件【53(0)件】 ○家族関係・人間関係に関する支援 59(7)件【107(6)件】 ○家計・経済に関する支援 91(3)件【80(10)件】 ○生活技術に関する支援 103(5)件【69(1)件】 ○就労に関する支援 26(1)件【56(2)件】 ○社会参加・余暇活動に関する支援 97(49)件【73(28)件】 		

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
福祉サービス利用支援部門	障害者地域自立生活支援センター サポート（障がい支援係 ※市委託）	
	○権利擁護に関する支援	1(0)件【9(1)件】
	○その他	953(168)件【595(80)件】
	※ピアカウンセリング件数合計	253件【139件】
	②フリースペース	20回（延153名）【23回 延198名】
	※作業所の夏休みと重なるお盆の時期に3日間の臨時開所を実施した。また、あいとぴあセンター改修工事のため9月第4週目～12月末まで休止した。	
	③自立生活向上プログラム	
	○障がい者料理教室「まいう～」※協力 狛江栄養士会	
	4回 参加者 延32名【4回 延26名】	
	○対人関係学習会 家族・支援者向け講座	
	「知的障がい者の対人関係と支援のあり方」1回 参加者32名【1回 23名】	
	○対人関係学習会 当事者向け講座(基礎編・出前講座) ※協力 劇団グスタフ	
	「対人関係をよくするために」(会場：ひかり作業所) 1回 参加者14名	
	○対人関係学習会 当事者向け講座(上級編) ※協力 劇団グスタフ	
	「対人関係をよくするために」	1回 参加者 5名【1回 5名】
	○自立生活プログラム	7回 参加者 実6名 延33名【10回 実9名 延67名】
	○自立生活プログラム 家族支援者向け	1回 参加者7名【1回 15名】
	④関係機関等の事業・会議への参画	
	○ふれあいサロン「夢一」運営委員会	6回【6回】
	○拡大防災ネット会議	2回【2回】
	⑤狛江市地域自立支援協議会への参画	
	○狛江市地域自立支援協議会 全体会	3回【1回】
	○狛江市地域自立支援協議会 定例会	3回【1回】
	○狛江市地域自立支援協議会 当事者部会役員会	18回【14回】
	○狛江市地域自立支援協議会 当事者部会コミュニケーションルーム等	5回【2回】
	あんしん狛江（相談支援係 ※東社協委託 市委託）	
	地域福祉権利擁護事業の契約者数は、平成28年度から引き続き増加している。	
	福祉サービス総合支援事業では、成年後見制度に関する相談が増加している。申立支援をしている人や候補者紹介を中心に実件数が増加している。また、申立以外の詐欺被害などの権利擁護相談、後見人の支援など相談の範囲が多岐にわたっている。	
	地域福祉権利擁護事業（※東社協委託）	
	①専門員配置数	2名【2名】
	②生活支援員登録者数	11名【11名】
	③契約者数 新規契約件数	13件【13件】
	解約件数	8件【14件】
	契約件数（3月末）	60件【55件】
	④相談件数（問い合わせ・継続相談等）	1,772件【1,433件】
	⑤契約に基づく支援件数	1,336件【1,148件】



障がい者料理教室

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
福祉サービス利用支援部門		
	あんしん狛江（相談支援係 ※東社協委託 市委託）	
	福祉サービス総合支援事業（※狛江市委託）	
	①業務担当者配置数	1名【1名】
	②利用者サポート事業	
	○福祉サービスの利用に際しての苦情対応	2件【11件】
	○判断能力が不十分な方の権利擁護相談	1,598件【943件】
	○成年後見制度の利用相談	1,139件【1,075件】
	※成年後見制度の利用相談の内、申立支援相談は79件【65件】	
	○その他福祉サービスに関する専門的な相談	330件【376件】
	③福祉サービス利用援助事業	
	○対象拡大契約件数	5件【4件】
	○対象拡大支援件数	43件【28件】
	○減免対象者の支援件数	101件【158件】
	④苦情対応専門相談の設置	
	○弁護士による専門相談	20件【24件】
	⑤あんしん狛江運営委員会	4回【4回】
	地域包括支援センター（相談支援係 ※市委託）	
	平成29年度は、4月に開始した介護予防・日常生活支援総合事業への円滑なサービス移行に努めた。総合相談は平成28年度比7%増加、平成27年度からだと19%増加している。また高齢者虐待・権利擁護業務では、権利擁護に関する相談の対応件数が4倍の436件になり、セルフネグレクトなどの支援困難ケースが増えている。平成28年度から受託している機能強化型地域包括支援センターでは、地域の介護支援専門員を対象にスキルアップ研修を実施するとともに、困難ケースへの直接支援を行った。	
	○総合相談件数	延 3,922件【3,638件】
	内エリア外対応	延 46件【372件】
	○新規相談件数	延 172件【151件】
	○月平均介護予防給付管理数	115件【173件】（自社作成分）
		9件【21.5件】（居宅委託分）
	月平均介護予防ケアマネジメント数	61件【平成29年度新規】（自社作成分）
		2件【平成29年度新規】（居宅委託分）
	○虐待対応	実件数32件 対応数224件【実件数38件 対応数676件】
	○権利擁護	実件数22件 対応数436件【実件数16件 対応数105件】
	※成年後見申し立て支援、消費者被害対応、困難事例対応【サービス拒否、多問題家族、経済的困窮等）を含む。	
	○介護予防普及啓発事業	36回【36回】
	内訳 運動30回（あいとぴあセンター、西和泉二棟集会室、多摩川住宅イ号棟集会所）	
	ウォーキング講座6回【運動30回（あいとぴあセンター、西和泉二棟集会室）、	
	ウォーキング講座6回】	
	○認知症サポーター養成講座	2回【5回】
	○介護者の集い	12回【12回】

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
福祉サービス利用支援部門	地域包括支援センター（相談支援係 ※市委託）	
	○ケアマネージャー支援	延 174件【延306件】
	○民生委員との懇親会・定例会	5回【5回】
	○家族介護者支援事業	2回【1回】
	○実習生受入（慈恵第三看護専門学校）	8人【9人】
<機能強化型>		
○相談件数	延 240件（実19名）【延 411件（実13名）】	
○後方支援	延 26件（実11名）【延 203件】※実人数平成29年度より	
○直接介入	延 214件（実8名）【延 208件】※実人数平成29年度より	
○研修主催	7回【8回】	
○ネットワーク構築支援	延 104件【延 186件】	
○地域ケア会議（個別ケア会議）	2件【6件】	
生活支援体制整備事業（在宅サービス係 ※粕江市委託）		
平成28年度に課題としてあげられた「居場所」と「買物支援」について、平成29年度も引き続き「生活支援体制整備協議会」や、新たに立ち上げた「介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会」において検討した。「居場所」については、モデル地区の選出を行い、具体的に計画を進めている。「買物支援」については、支援が必要と思われる地区の訪問を行い、買物困難者の実態調査を行ったが、支援方法が複数案あげられており、平成30年度も協議を続けていく予定である。		
①生活支援コーディネーターの配置	1名【1名】	
②社会資源訪問調査	39件【42件】	
③関係機関への周知・情報交換	25件【3件】	
④他市見学・情報交換	2件【9件】	
⑤個別相談	5件【0件】	
⑥研修への参加	5回【9回】	
・7/12 介護予防・日常生活支援総合事業従事者向け介護予防研修	総論編	
・1/14 生活支援体制整備事業推進セミナー		
・2/18 住民参加型活動推進セミナー		
・3/1 地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾	実務ステップアップ編「地域に眠る宝を見つける力・磨く力」	
・3/7 地域づくりをすすめるコーディネーター連絡会		
⑦協議体「生活支援体制整備協議会」	3回【2回】	
・第1回 7/19 粕江市防災センター	出席者 14名	
・第2回 11/20 粕江市防災センター	出席者 13名	
・第3回 3/27 粕江市防災センター	出席者 13名	
⑧介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会	6回【平成29年度新規】	

部門	事業内容				【 】は平成28年度実績
福祉サービス利用支援部門	生活福祉資金貸付事業（在宅サービス係 ※東社協委託）				
	貸付決定件数は平成28年度と比べて大きな変化はないが、複雑な事情を抱えた世帯へ貸付の支援を行ったため、貸付決定までの相談回数や関係機関との連絡調整が多く、継続貸付相談の件数が増加した。また、長期滞納者の状況確認を行い、安定した収入のある方に対しては、償還を促すために、本人への訪問や家族や職場等との連絡調整を行い、償還開始につなげた。				
	①相談件数	725件 【722件】			
	○新規貸付相談	63件 【63件】			
	○継続貸付相談	457件 【381件】			
	○償還関係	200件 【263件】			
	○その他	5件 【15件】			
	②決定件数・金額	6件	11,729,000円	【5件	21,019,000円】
	○福祉資金	6件	11,729,000円	【3件	9,069,000円】
	・福祉費	1件	11,485,000円	【0件	0円】
	・教育支援資金	4件	191,000円	【3件	9,069,000円】
	・緊急小口資金	1件	53,000円	【0件	0円】
	○総合支援資金	0件	0円	【1件	330,000円】
	・生活支援費	0件	0円	【1件	330,000円】
	・住宅入居費	0件	0円	【0件	0円】
	・一時生活再建費	0件	0円	【0件	0円】
	○要保護向け不動産担保型生活資金	0件	0円	【1件	11,620,000円】

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
在宅福祉サービス部門	障がい者就労支援センター サポート（障がい支援係 ※市委託）	
	<p>平成30年度の法定雇用率変更を控え雇用情勢が上向いていること、精神障がい者の雇用件数が伸びている影響もあり、就労支援登録者数が平成28年度より26名増加した。</p> <p>特に精神障がい者の就労者の増加にあわせ「定着支援（職場での不安解消の支援）」「就職準備」等の支援件数が増加している。就労上の課題の早期発見、早期対応を行い離職の予防を進めると同時に、企業担当者との情報交換や企業訪問、個別面談等で就労継続につながる支援を行った。</p> <p>新しい就労希望者の掘り起しのために精神障がい者を対象に「就労アカデミー（勉強会）」を開催、障がい児の保護者を対象に職場見学会を実施した。</p>	
<p>①就労支援登録者 186名（就労中 108名 うち新規就労 31名） 【160名 うち就労中96名】</p> <p>○相談支援件数</p> <p>＜就労支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業相談 延 726件 【延987件】 ・ 就職準備支援 延 708件 【延432件】 ・ 職場開拓件数 延 92件 【延232件】 ・ 職場実習 延 47件 【延28件】 ・ 職場定着支援 延 1560件 【延1269件】 ・ 離職支援 延 57件 【延51件】 <p>＜生活支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活支援 延 700件 【延511件】 ・ 不安や悩みの解消 延 232件 【延225件】 ・ 豊かな社会生活を築く為の支援 延 16件 【延11件】 ・ 将来設計相談 延 1件 【延4件】 <p>＜訓練等実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託訓練 延 1件 【延1件】 ・ 職場実習 延 10件 【延5件】 <p>②関係機関情報交換会 0回 【2回】 ※平成30年度より就労支援情報交換会を開催予定</p> <p>③関係機関会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都障害者就労支援関係機関意見交換会 2回 【2回】 ○多摩地域就労支援事業実施団体連絡会議 2回 【2回】 ○障害者雇用促進連絡会 1回 【1回】 <p>④講演会・セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就労促進講演会「障がいのある方の“働く”を準備する（10/25）」 参加者 11名 講師：東京都立南大沢学園 ○就労促進講演会「企業から見た障がい者雇用（1/25）」参加者 12名 講師：パーソルチャレンジ株式会社 ○障がい者職場見学会「就労継続支援A型事業所見学会（11/28）」 見学先：社会福祉法人にじの会 ワークショップ・ハーモニー 参加者1名 ○障がい者職場見学会「特例子会社見学会（12/18）」 見学先：東京グリーンシステムズ株式会社 参加者4名 ○障がい者職場見学会「一般企業見学会（2/22）」 見学先：東京海上日動システムズ株式会社 参加者5名 		

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
在宅福祉サービス部門		
障がい者就労支援センター サポート（障がい支援係 ※市委託）		
○障がい者職場見学会「特例子会社見学会（2/27）」		
見学先：エム・ユー・ビジネスパートナー株式会社 参加者6名		
○就労アカデミー 10回 参加者延 39名 【10回 延38名】		
⑤地域開拓促進コーディネート		
<個別相談支援件数>		
・ 就労相談 延 19件 【延26件】		
・ 職場開拓件数 延 44件 【延78件】		
・ 登録者の職場定着支援 延 195件 【延120件】		
・ 同行支援（面接会や企業実習等） 延 2件 【延3件】		
<就職希望者、企業の掘り起し>		
・ 企業訪問件数 延 123件 【延61件】		
・ 福祉施設訪問件数 261件 【121件】		
・ 見学会等への参加 33社 【18社】		
特定相談・障がい児相談支援事業（障がい支援係）		
<p>特定相談は、計画更新時期やモニタリング期間、サービス内容の変更により計画作成件数とモニタリング件数ともに平成28年度より増加した。</p> <p>児童計画相談は、障がい福祉サービスの初めての利用にあわせ計画作成を希望する保護者が増加している。また、サービス利用開始後に成長にあわせて定期的にサービス利用状況をモニタリングする必要があるため、計画作成件数とモニタリング件数ともに平成28年度より増加した。</p>		
○利用契約者人数（3月末）		
特定相談 139名 【135名】		
児童相談 66名 【62名】		
○サービス等利用計画作成件数		
特定相談 102件 【75件】		
児童相談 72件 【71件】		
○モニタリング件数		
特定相談 283件 【263件】		
児童相談 217件 【165件】		
○相談支援事業所連絡会への参加 12回 【12回】		
心身障害児（者）緊急一時保護事業（在宅サービス係 ※市委託）		
<p>平成29年度末に利用登録者、介護人の登録更新を実施したため、長期で利用がなかった方等が更新をせず、登録者が減少した。</p> <p>実施件数としては、個人の介護人によるものは昨年とほぼ同数だが、協力施設の利用が減ったため、全体として減少になった。</p>		
○実施件数 458件 【534件】		
介護形態別内訳		
登録介護人によるもの 424件 【423件】		
協力施設によるもの 34件 【111件】		

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績																											
在宅福祉サービス部門																													
心身障害児（者）緊急一時保護事業（在宅サービス係 ※市委託）																													
<table border="0"> <tr> <td>○利用登録者</td> <td colspan="2">42名【66名】</td> </tr> <tr> <td> 障がい別内訳</td> <td>身体障がい</td> <td>7名【11名】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>知的障がい</td> <td>21名【37名】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>精神障がい</td> <td>0名【2名】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>重複障がい</td> <td>14名【16名】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>難病</td> <td>0名【0名】</td> </tr> <tr> <td>○登録介護人</td> <td colspan="2">24名【50名】</td> </tr> <tr> <td>○登録介護協力施設</td> <td colspan="2">4か所【4か所】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">（社会福祉法人光友会ひかり作業所、NPO法人ハッピーライフフォーエバー、NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」、NPO法人アビリティクラブたすけあい狛江たすけあいワーカーズなかよし）</td> </tr> </table>	○利用登録者	42名【66名】		障がい別内訳	身体障がい	7名【11名】		知的障がい	21名【37名】		精神障がい	0名【2名】		重複障がい	14名【16名】		難病	0名【0名】	○登録介護人	24名【50名】		○登録介護協力施設	4か所【4か所】		（社会福祉法人光友会ひかり作業所、NPO法人ハッピーライフフォーエバー、NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」、NPO法人アビリティクラブたすけあい狛江たすけあいワーカーズなかよし）				
○利用登録者	42名【66名】																												
障がい別内訳	身体障がい	7名【11名】																											
	知的障がい	21名【37名】																											
	精神障がい	0名【2名】																											
	重複障がい	14名【16名】																											
	難病	0名【0名】																											
○登録介護人	24名【50名】																												
○登録介護協力施設	4か所【4か所】																												
（社会福祉法人光友会ひかり作業所、NPO法人ハッピーライフフォーエバー、NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」、NPO法人アビリティクラブたすけあい狛江たすけあいワーカーズなかよし）																													
意思疎通支援事業（在宅サービス係 ※市委託）																													
<p>通訳派遣件数は50件ほど増加。増加傾向にある介護・医療現場での通訳に加え、子育て世帯に対する派遣が増えたことが要因と考えられる。養成講習に関しては、手話、要約筆記ともに講習会参加者の減少が見られる。登録通訳者研修については、手話、要約筆記それぞれの現場に即した研修を行うため、狛江市防災訓練を視野に入れ、災害時避難所における通訳活動の方法等を検討する機会を設けた。通訳者それぞれが新たな気づきを得られる研修となった。</p>																													
①通訳者の派遣																													
○派遣件数																													
手話通訳	309件（内、事業内派遣 18件）	【253件】																											
要約筆記	38件（内、事業内派遣 19件）	【15件】																											
○登録通訳者																													
手話通訳	33名	【24名】																											
要約筆記	24名	【21名】																											
（内、手書きのみ4名、PCのみ12名、手書き・PC両方8名）																													
②運営・スタッフ会議																													
○手話運営委員会	6回	【6回】																											
○手話講習会スタッフ会議	3回	【3回】																											
○要約筆記運営委員会	6回	【6回】																											
○要約筆記講習会スタッフ会議	3回	【3回】																											
③通訳者研修																													
○手話通訳者研修会 7回【6回】																													
・6/6 あいとぴあセンター 講師	落合和代氏（東京手話通訳等派遣センター）																												
・7/1 あいとぴあセンター 講師	川島好子氏（東京手話通訳等派遣センター）																												
・9/11 狛江市防災センター 講師	原田洋行氏（東京手話通訳等派遣センター）																												
・9/25 狛江市防災センター 講師	川崎俊輔氏（狛江市役所安心安全課）																												
・10/14 あいとぴあセンター 講師	飛山将紀氏（東京手話通訳等派遣センター）																												
・1/16 あいとぴあセンター 講師	田原直幸氏（東京手話通訳等派遣センター）																												
・2/16 狛江市防災センター 講師	朝倉靖裕氏（東京手話通訳等派遣センター）																												

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
在宅福祉サービス部門	意思疎通支援事業（在宅サービス係 ※市委託）	
	<p>○要約筆記者研修会 6回【5回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/25 狛江市防災センター 講師 川崎俊輔氏（狛江市役所安心安全課） ・ 10/21 狛江市役所 講師 大場美晴氏（全国文字通訳研究会） 里村徐子氏（全国文字通訳研究会） ・ 11/24 あいとぴあセンター 講師 千葉則子氏（東京手話通訳等派遣センター） ・ 2/18 狛江市中央公民館 協力 狛江聞こえにくい人のふれあいの会 ・ 3/2 あいとぴあセンター 通訳現場実習（パソコン） ・ 3/16 あいとぴあセンター 通訳現場実習（手書き） <p>④通訳者養成講習</p> <p>○手話講習会（開講式5/13、合同講演会11/25、閉講式3/10）</p> <p>会場 あいとぴあセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初級コース 5/16～2/27 火曜日 全33回 受講者 12名 修了者 9名【受講者18名 修了者16名】 講師 河合優子氏 助手 武知美恵子氏 ・ 中級コース 5/18～3/1 木曜日 全33回 受講者 14名 修了者 13名【受講者14名 修了者14名】 講師 辻川由美氏 助手 堀一子氏 ・ 上級コース 5/18～3/1 木曜日 全33回 受講者 12名 修了者 12名【受講者8名 修了者8名】 講師 竹林伸子氏 助手 八尋洋子氏・渡口敦子氏 ・ 養成コース 5/16～2/27 火曜日 全33回 受講者 5名 修了者 5名【受講者10名 修了者10名】 講師 金井富美子氏 世話人 大宅はるみ氏 <p>○手話入門講座</p> <p>全5回【5回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者 16名【17名】 ・ 会場 あいとぴあセンター ・ 講師 武知美恵子氏 ・ 助手 杉山百恵氏 <p>○要約筆記講習会＜パソコン文字通訳＞</p> <p>全13回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者 3名【5名】 ・ 会場 あいとぴあセンター ・ 講師 柴田晶子氏、永田理恵氏、長谷川洋氏、村上真理子氏、山本尚央子氏 ・ アシスタント 宇都宮伸子氏、関山典子氏、堀勝三氏 ・ 情報保障 狛江要約筆記サークル「こまくさ」 <p>○要約筆記フォローアップ研修＜パソコン文字通訳＞</p> <p>全5回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者 1名【4名】 ・ 会場 あいとぴあセンター ・ 講師 柴田晶子氏、永田理恵氏、狛江要約筆記サークル「こまくさ」 	

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
在宅福祉サービス部門		
ホームヘルパーステーション（在宅サービス係）		
<p>新しい担い手養成のために平成28年度から「狛江市認定ヘルパー研修」を実施しており、平成29年度は5回開催して37名が受講した。実就労数は、平成28年度から合わせて17名が市内の事業所で活動している。</p> <p>総合事業の利用者が増加し、認定ヘルパーでの対応が困難な状況である。介護保険の登録ヘルパーも総合事業の活動者とならざるを得ず、訪問介護の提供時間が減少している。</p>		
<p>①登録訪問介護員等</p> <p>ホームヘルパー 25名【25名】 ガイドヘルパー 8名【7名】 認定ヘルパー 5名【0名】</p> <p>○ヘルパー連絡会 11回【11回】</p> <p>○選択研修① 「腰痛予防」 介護労働安定センター（7/27）</p> <p>○選択研修② 「高齢者を狙う悪徳商法」（公社）全国消費生活相談員協会（10/11）</p>		
<p>②実習生受入れ</p> <p>○東京慈恵会医科大学看護学科 29名【21名】 30日間【40日間】</p> <p>○都立多摩職業能力開発センター 5名【5名】 8日間【8日間】</p>		
<p>③訪問介護事業・介護予防訪問介護事業</p> <p>○利用者数 延 495名【延697名】</p> <p>○サービス提供件数 延 4,323件【延5,084件】</p> <p>○サービス提供時間 延 4,276時間【延5,535時間】</p>		
<p>④総合事業</p> <p>○利用者数 延 213名【H29年度新規】</p> <p>○サービス提供件数 延 1,008件【H29年度新規】</p> <p>○サービス提供時間 延 1,050時間【H29年度新規】</p>		
<p>⑤障害者総合支援法</p> <p><居宅介護・同行援護></p> <p>○利用者数 延 276名【延254名】</p> <p>○サービス提供件数 延 1,714件【延1,815件】</p> <p>○サービス提供時間 延 3,502時間【延3,659時間】</p>		
<p>⑥障害者地域生活支援事業</p> <p><移動支援></p> <p>○利用者数 延 107名【延90名】</p> <p>○サービス提供件数 延 655件【延473件】</p> <p>○サービス提供時間 延 646.5時間【延484時間】</p>		
<p>⑦ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業（市委託）</p> <p>○利用者数 延 12名【延12名】</p> <p>○サービス提供件数 延 136件【延136件】</p> <p>○サービス提供時間 延 136時間【延136時間】</p>		
<p>⑧同行援護従業者養成研修（市委託）</p> <p>一般課程 11月15日～18日 4日間 12名受講</p> <p>応用課程 11月24日・25日 2日間 12名受講</p>		

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
在宅福祉サービス部門		
ホームヘルプステーション（在宅サービス係）		
⑨狛江市認定ヘルパー研修（市委託） 6月21日～23日 3日間 7名受講 【12月12日～14日 3日間 10名受講】 8月8日～10日 3日間 9名受講 【1月23日～25日 3日間 15名受講】 10月25日～27日 3日間 4名受講 【2月13日～15日 3日間 13名受講】 12月12日～14日 3日間 9名受講 2月19日～21日 3日間 8名受講		
居宅介護支援事業（相談支援係）		
認定調査の受託件数は、3件から7件に増えた。また、平均給付管理者数は58名となっており、昨年より11名増えた。		
介護支援専門員 2名【2名】 ○月平均給付管理者数 58名【47名】 ○認定調査受託 7件【3件】		
あいとぴあ子ども発達教室“ぱる”（早期療育係）		
<p>平成29年度の利用率は60%台であり目標値の70%には届かなかった。主な欠席理由は体調不良や園の行事、保護者の仕事であった。個別指導の利用率は50～60%台であった。ニーズはあるが、午前中枠は園に通う児童が多いため空きが多い状況である。就学ガイダンスの対象者を狛江市在住者に拡大したことにより、参加者数は平成28年度より延33名増加した。</p> <p>平成29年度に新たに実施した非常食摂取体験には20組の参加があった。初めてのものを食べるのが苦手な児童が多数いたが、保護者やお友達と一緒にということから安心して食べることができ、食の幅が広がった。通所児を対象にJASPER（自閉症児への支援手法）を個別で実施し延14名が参加した。対人関係の苦手な児童への新しいアプローチの足掛かりとすることができた。</p>		
①児童発達支援事業 ○開所日数 186日【194日】 ※集団・プール療育実施回数 361回【378回】 ※グループの内訳は以下の通り 月、火、水、木（午前・午後）、金プール（A・Bグループ） ○通所児童 定員 80名（10名×8グループ） 80名【80名】 実利用人数 76名【81名】 通所人数（グループ・プール） 延2,043名【延2,001名】 ○新規利用開始児童 22名【27名】 ○個別指導 延467名【延477名】 内訳：言語指導206名【268名】、理学療法113名【86名】、作業療法148名【123名】 ○外出プログラム（三角公園） 15回 48組【9回 51組】 ○ペアレントトレーニング 30回 延193名【27回 延174名】 ○保護者支援（臨床心理士によるグループワーク） 12回 延64名【17回 延105名】 ○保護者面談 32名【48名】 ○JASPER 9回 延14名 【平成29年度新規】 ○就学支援会議 2回（第六小学校・緑野小学校） 【1回】（第六小学校） ○保護者参観日 16回 107名 【16回 105名】 ○避難訓練 16回 89組 【16回 93組】 ○保護者会 17回（参観日・卒業式）【16回】 ○遠足 1回 15組 【2回 23組】 ○卒業式 1回 13組 【1回 15組】		

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
在宅福祉サービス部門	あいとぴあ子ども発達教室“ぱる”（早期療育係）	
	<p>○個人面談 107回 【100回】</p> <p>○卒業面談 17回 【19回】</p> <p>○初回面談 22回 【27回】</p> <p>○幼稚園訪問 6回 【4回】 内訳：子鹿幼稚園、こだま幼稚園(3回)、みずほ幼稚園、染地幼稚園</p> <p>○保育園訪問 5回 【8回】 内訳：東野川保育園みんなの家、藤塚保育園、虹のひかり保育園(2回)、駄倉保育園</p> <p>○非常食摂取体験 4回 20組 【平成29年度新規】</p> <p>○就学ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会による説明会 1回 参加者35名 【1回 参加者25名】 ・先輩保護者からの経験談 1回 延15名 【2回 延21名】 ・学校見学 8回 延56名 【11回 延46名】 <p>内訳：狛江第一小学校(固定・通級)、緑野小学校(固定・通級) 通級(狛江第三小学校、狛江第五小学校、狛江第六小学校、和泉小学校)</p> <p>○関係機関会議 6回 【17回】</p> <p>○専門職会議 3回 【4回】</p> <p>○全体カンファレンス 5回 【5回】</p> <p>○スタッフ研修(合同研修含め) 7回 【3回】</p> <p>○プール指導 5回 【5回】</p> <p>○給食会議 12回 【12回】</p> <p>○見学受入れ利用希望者 延27名 【34名】、利用児保護者1名 【7名】 関係機関 5名 【11名】</p> <p>○実習生受入れ 延24名 【6名】</p> <p>○ぱるにつながった保護者からの相談 延24名 【23名】</p> <p>○関係機関情報共有(利用児) 延48名 【40名】</p> <p>○就学前発達検査(利用児) 0名 【6名】</p> <p>②早期療育訓練事業(市委託)</p> <p>○市民・関係機関からの発達相談及び情報共有(療育相談インテーク含む) 125件 【163件】</p> <p>○講演会 0回 【3回 保護者61名 関係機関22名】</p> <p>○就学後相談(グループ相談) 7回 延27名 【5回 延44名】 内訳：教育研究所の役割、思春期について、進路の色々(作業所・企業見学)</p> <p>○療育施設見学 0回 【2回】</p> <p>○先輩ママとのトークタイム 0回 【6回 延34名】</p> <p>○合同研修受入れ 3回 延23名 【3回 延24名】</p> <p>○保育士研修受入れ 延12名 【延23名】 療育の実際を経験し保育現場に活かしてもらうため、市立保育園の保育士に向け3日間の研修を行った。 内訳：藤塚保育園・駒井保育園・駄倉保育園・三島保育園</p>	

部門	事業内容		【 】は平成28年度実績
在宅福祉サービス部門	生活介護事業 麦の穂（知的障がい者通所訓練係）		
	<p>宿泊活動の一環として、災害に備えた1泊2日の宿泊訓練を行った。環境の変化を苦手とする障がいを持つご利用者が多いが、訓練を終えることができたため、今後継続的に実施する見通しを立てることができた。</p>		
○通所者	14名 延2,989名		【13名 延2,704名】
○保護者会	10回（4月と10月を除いた毎月1回実施） 個別面談実施月は、保護者会は未実施		【10回】
○個別面談	6日間 【7日間】 個別支援計画書を前期、後期と分けて作成するための個別面談		
○行事	11回（11月を除いた毎月1回実施） 利用者全員が参加する月1回の外出活動。		【11回】
○宿泊活動	<p>※行先 東京サマーランド、勝沼ぶどう狩り、オービィ横浜等</p> <p>2回（観光用11/9～10の1泊2日、災害用9/28～29の1泊2日）</p> <p>宿泊場所 かんぼの宿青梅（観光用） 東京都障害者休養ホーム事業の助成を受けて実施</p> <p>観光場所 羽村市動物公園、青梅市梅郷キノコ狩り、昭和記念公園等</p> <p>宿泊場所 あいとびあセンター4階講座室（災害用）</p>		【1回】
○クラブ活動	20回（上半期11回、下半期9回） 利用者のニーズにより応えていくための少人数制の外出活動。5グループに分けて1グループ年4回実施。		【20回】
○ケース会議	12回（毎月1回実施）		【12回】
○利用者定期健康診断	1回（女性3/12、男性3/19）		【1回】
○嘱託医相談	12回（毎月1回実施）		【12回】
○調理活動	19回		【24回】
○体育館活動	12回（毎月1回実施）		【12回】
○専門指導	<p>言語療法 3回</p> <p>作業療法 2回</p> <p>音楽療法 4回</p> <p>織り 2回</p> <p>造形 2回</p> <p>スーパービジョン 4回</p>		【3回】
○歯磨き指導	4回		【4回】
○実習生受入れ	2名		【3名】

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
法人運営部門	会員事業（組織管理係）	
	新規加入件数は平成28年度と同程度であったが、会員の逝去や入院等を理由とする退会件数が多く、会員数及び会費収入ともに平成28年度よりも減少した。	
	①社会福祉協議会会員制度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・会費収入 ・つつじ会員 ・いちょう会員 ・さくら会員 ・会員加入率（会員件数÷世帯数） 	<ul style="list-style-type: none"> 3,218,000円 【3,456,000円】 2,449件 【2,647件】 53件 【53件】 3件 【4件】 6.0% 【6.5%】
	○会員増強月間の取組（7月） <ul style="list-style-type: none"> ・理事・評議員・協力委員による個別訪問の実施 ・事務打合せ会・あんしん狛江事業説明（6/21） ・小田急線駅頭PR活動（7/12～13） ・市内町会自治会 PR用資材の回覧、ポスター掲示 ・集合住宅 チラシのポスティング ・会員募集チラシ新聞折込 1回（7/16 17,000部） ○会員向け講演会（9/20） <p>「詐欺に注意！気を付けよう悪質商法 ～ひとりで悩まず すぐ相談～」</p> <p>講師：小笠原 むつみ 氏（東京都消費生活総合センター 東京都消費者啓発員）</p>	
②会員制度協賛店事業（平成24年10月～実施）		
<ul style="list-style-type: none"> ○協賛店登録数 ○協賛店紹介サイトの運用 	<ul style="list-style-type: none"> 49店（うち新規登録数1店） 【48店】 	
寄付事業（組織管理係）		
平成28年度に開始をしたマスコットキャラクターを活用した募金箱（こまちゃん募金箱）は、設置場所及び設置イベントを3か所から5か所に拡大した。また、親族の方が亡くなり社協事業とのつながりから受ける寄付（遺贈寄付）が増えたことも一因となり、一般寄付、指定寄付ともに平成28年度よりも多くの寄付が寄せられた。		
○一般寄付金（物品寄付を含む） 59件 1,654,976円 【42件 526,212円】		
○指定寄付金		
<ul style="list-style-type: none"> ・あいとぴあ基金 ・誕生日募金 ・その他の指定寄付金収入 	<ul style="list-style-type: none"> 3件 14,393円 【2件 20,421円】 7件 42,999円 【8件 62,222円】 22件 97,610円 【14件 84,716円】 	
※あいとぴあ基金積立金累計額（平成30年3月末） 104,753,691円 【104,594,894円】		

部門	事業内容	【 】は平成28年度実績
法人運営部門	広報事業（組織管理係）	
	<p>④マスコットキャラクター活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マスコットキャラクターこまちゃんを活用したグッズ等のデザイン検討及び作成 配布用ポケットティッシュの作成 3,000個 ○マスコットキャラクターを活用した収益事業の検討 マスコットキャラクター活用検討プロジェクトチームで販売用グッズを検討した。 ○出演 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員活動普及駅頭PR(5/12) ・会員事業駅頭PR(7/12、7/13) ・狛江フェスティバル2017（7/30） ・赤い羽根共同募金運動街頭募金（10/1） ・乗馬会（主催：NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」）（10/1） ・地域交流いきいき大会（主催：狛江市老人クラブ連合会）（10/13） ・市民まつり（11/12） ・歳末たすけあい運動街頭募金（12/1、12/22） ・ひかり作業所新年会（1/12） 	
	地域福祉活動計画の策定（地域福祉活動計画策定委員会）	
	<p>①地域福祉活動計画策定委員会 3回（7/11、10/31、1/30） 【4回】 地域住民や関係機関等15名の委員で構成され、平成30年度から6か年の計画を策定するための委員会。 委員長 日本地域福祉研究所 小野敏明氏</p> <p>②地域福祉活動計画策定プロジェクトチーム会議 8回 【平成29年度新規】 地域福祉活動計画の策定に向け、各部署から選出された職員によるプロジェクトチームで行う会議。</p> <p>③地域福祉活動計画（案）市民説明会 1回（12/21） 参加者 37名</p> <p>④第3次地域福祉活動計画の発行</p> <p>⑤視察研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調布市社会福祉協議会（8/30） ○府中市社会福祉協議会（2/27） 	
	労働安全衛生の管理（衛生管理委員会）	
<p>①委員会の開催</p> <p>衛生委員会 12回【12回】 産業医：加藤一彦氏（かとうクリニック）</p> <p>②健康診断の実施</p> <p>正規・嘱託職員対象（5/22～5/26） 受診者42名【43名】</p> <p>非常勤職員対象（2/2～2/3） 受診者56名【50名】</p>		

部門	事業内容 【 】は平成28年度実績
法人運営部門	
	<p>③ストレスチェックの実施 平成29年5月にストレスチェックを実施した。</p>
	<p>実習生受け入れ</p>
	<p>①田園調布学園大学 1名（8月17日～9月26日 計180時間） ②武蔵野大学 1名（8月17日～9月26日 計180時間） ③上智社会福祉専門学校 1名（8月17日～9月 6日 計 90時間）</p>

